



平成30年度から道徳の時間は「特別の教科 道徳」として、国語や算数と同じように教科になり、教科書を使って学習をしています。「特別の教科 道徳」では、道徳性を養うために、共通課題である4つの視点をもとに、低学年は19種類、中学年は20種類、高学年は22種類の内容項目を学習しています。本校では、内容項目の中でも「思いやり」「規範意識」「命」の3項目に重点をおき、子どもたちの道徳性を育むことを目指しています。また、本校は道徳の研究校となっており、本年度は全国研究大会の会場校として11月には、授業公開が行われる予定です。

道徳性を養うために重要になってくるのが、子どもたちの生活体験です。体験を通して様々なものとの関わりを豊かにしておくことで、道徳の時間に登場人物の心の内を自分のことのように感じ、考えていくことができます。花を育てる、自然と触れ合う、挨拶をする、掃除をする、地域の行事に参加する、お年寄りや小さい子と関わるなどが、授業の中で登場人物の気持ちを考えるときに思い出され、子どもたちの心を耕してくれます。

道徳だより「つなぐ」では、学校内で行われている心をはぐくむ活動や道徳の授業について紹介します。このお便りが、ご家庭と学校をつなぐものになりましたら幸いです。また「思いやり」「規範意識」「命」についてご家庭で考えるきっかけにいただけたらと思います。

<p>A 主として自分自身に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正直、誠実 ・節度、節制 ・個性の伸長 ・善悪の判断、自律、自由と責任 ・希望と勇気、努力と強い意志 ・真理の探究（5、6年） 	<p>B 主として人との関わりに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝 ・礼儀 ・友情、信頼 ・親切、思いやり ・相互理解、寛容（3、4、5、6年） 
<p>C 主として集団や社会との関わりに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則の尊重 ・勤労、公共の精神 ・国際理解、国際親善 ・公正、公平、社会主義 ・家族愛、家庭生活の充実 ・よりよい学校生活、集団生活の充実 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 	<p>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さ ・自然愛護 ・感動、畏敬の念 ・よりよく生きるよろこび（5、6年） 